

資料2 多賀地区の津波対策（対応策の抽出（具体化）と優先順位づけ）

課題		担当	短期的対策（2～3年）	中期的対策（10年以内）	長期的対策	備考	
ハード対策	堤防整備（防潮堤）	県	【上多賀・下多賀・中野】 ・胸壁・陸閘新設または護岸改修（かさ上げ）（T.P.+6.0m）調査・設計（H-1-1） 【小山】 ・胸壁・陸閘新設（T.P.+7.0m）調査・設計（H-1-2）	【上多賀・下多賀・中野】 ・胸壁・陸閘新設または護岸改修（かさ上げ）（T.P.+6.0m）（H-1-1） 【小山】 ・胸壁・陸閘新設（T.P.+7.0m）（H-1-2）		・和田木は現況維持として、護岸改修等は実施しない。 （網代地区との調整により変更する可能性あり）	
	水門整備		県		・上多賀大川・熱海宮川・熱海仲川・鍛冶川について、施設効果の高い順に河口部水門の調査・設計を実施（H-2）	・上多賀大川・熱海宮川・熱海仲川・鍛冶川について、施設効果の高い順に河口部水門を整備（H-2） （調査・設計により、整備効果が認められた場合）	・隣接する海岸保全施設の整備高さ（T.P.+6.0m）にあわせて水門を整備する。
ソフト対策	避難路	熱海市	・避難路整備（手すり設置）（S-1-1） ・避難路整備（手すり設置）（S-1-2）				
	避難路（標示）	熱海市	・避難誘導看板設置（S-2）	・避難方向路面標示（S-3） （モデル施工の結果による）		・路面標示はモデル施工（熱海地区）により、視認性・耐久性等を確認したうえで、本格導入を検討	
	避難路（照明）	熱海市	・街灯の新設及びLED化に対する補助（S-4）				
	避難場所	・避難ビルの追加	熱海市	・新築・改築ビルの避難ビル化推進			・新規開発行為の申請時に、開発者に対し、津波避難ビルへの登録を依頼
		・市役所南熱海支所・消防署南熱海出張所の老朽化	熱海市	・市役所南熱海支所・消防署南熱海出張所の建て替え（S-5）			・平成31年度末完成予定
	自宅等建築物の対策	熱海市	・無料耐震診断（昭和56年5月以前建築の木造住宅） ・耐震補強費用の補助			・「TOUKAI-0」による支援	
	情報連絡（事前準備）	・避難計画	熱海市	・津波避難計画作成			・平成29年2月作成済み
		・津波浸水区域・津波避難ビル等の周知	熱海市	・防災ガイドブック（ハザードマップ）全戸配布			・平成28年3月配布済み ・随時更新
		・災害弱者対策	熱海市	・避難行動要支援者避難支援計画（個別計画）の作成			・市・自主防・民生委員等
情報連絡（発災後）	・情報伝達手段の整備	熱海市	・Jアラート（全国瞬時警報システム）の活用 ・Jアラート緊急割込み放送システム（FM熱海湯河原）の導入 ・緊急速報メール（エリアメール）による情報配信 ・その他情報発信（メールマガジン、ケーブルテレビ、FMラジオ）	・同報無線のデジタル化			
	・安否確認手段の整備	民間	・「災害用伝言ダイヤル171」の活用 ・家族間・近所であらかじめ取り決め			・活用方法等の周知（熱海市）	